

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援はぐみープラス					公表日	2025年 4月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法令を遵守したスペースを確保しています。	継続しながら、常に物の配置等を考えながら、よりベストなスペース確保に努めています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法令で必要とされる配置数に加え、保育士を1名以上配置しています。	今後も継続していきます。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		何がどこにあるかがわかりやすい環境設定になっています。	玄関に段差があるので、必要な時にはスロープを装着します。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		プレキエーションの設置など、お子様が「楽しそう!」とワクワクする空間をつくっています。体を動かす空間・机上で活動する空間をつくっています。また、毎日清掃・消毒を行っています。	今後も、パーテーションなどを使用しながら、活動のメリハリをつけれるようにしていきます。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		周りからの刺激が少なくなるよう、四方が囲まれている場所をつくっています。事務所でもクールダウンできるようにしています。	今後も継続していきます。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎日のフィードバック、毎月の会議等で、スタッフ全員が参画しています。	今後も継続していきます。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向け評価表をスタッフ全員で共通理解し、内容を業務改善につなげています。	今後も継続していきます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日のフィードバック、毎月の会議、面談、随時スタッフからの質問等を受けるなど、スタッフの意見等を把握する機会を設け、業務改善につなげています。	今後も継続していきます。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在は、利用者と事業所の2者評価をとっています。現在、実施の予定はありません。	今後必要に応じて実施を検討していきます。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月研修を行っています。また、それ以外でも、必要に応じて研修を行っています。	今後も継続していきます。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		作成し、ホームページ、Instagramに公表しています。	今後も継続していきます。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		計画期間ごとにアセスメントを取り、それぞれのお子様・ご家族に沿った支援計画を作成しています。	今後も継続していきます。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		適宜ケース会議を開き、子どもの支援に関わるスタッフとの共通理解の上作成されています。	今後も継続していきます。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		全スタッフ間で共通理解されて、計画に沿った支援を行っています。	今後も継続していきます。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		言語認知プログラム、日々の記録を通して子どもの状況を確認しています。	今後も継続していきます。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ペアレント・トレーニングや面談等による家族支援、保育園や幼稚園との関係機関連携を随時行っています。	今後も継続していきます。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		スタッフ間で相談し合いながら立案しています。	今後も継続していきます。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		プログラムがパターン化しないようスタッフ間で案を出し合い、様々な視点からアプローチするようにしています。	今後も継続していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		必要に応じて、少人数グループでの療育を行っています。	今後も継続していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援の担当確認、準備も行った上で支援に入っています。	今後も継続していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日、支援終了後にフィードバックを行っています。	今後も継続していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回の療育の記録を取り、支援の検証・改善に活かしています。	今後も継続していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		計画期間ごとにモニタリングを行っています。	今後も継続していきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達管理責任者と主な担当スタッフが参画しています。	今後も継続していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関の連携を保護者様にもすすめ、連携を大切にしています。	今後も継続していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		園との連携を大切にしています。支援内容等の情報共有をしています。	今後も継続していきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	児童発達支援のみのため、小学校入学の際の連携をとる機会が難しいです。	必要に応じて、3月末までに小学校や特別支援学校（小学部）と情報共有をとりたいと考えています。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)		○	外部専門家による研修や助言を受けています。	今後、地域の児童発達支援センターとの連携も図っていききたいと思います。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	地域交流については、限られた時間設定の中では難しく実施することはしていません。普段通われている園での交流を大切にし、連携を図っています。	今後も普段通われている園との連携を大切にしていきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎回、療育後にフィードバックをさせていただいています。ご家庭での様子もお聞かせいただき、共通理解を図っています。	今後も継続していきます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		随時、ペアレント・トレーニングや個別相談を受け付けています。	いつでもお声がけいただけるよう、玄関にも掲示します。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		運営規定、利用者負担額などについて、契約時に丁寧にご説明しています。事業所内に重要事項説明書を提示しています。	今後も継続していきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		必ず、お子様、保護者様の意向をお伺いし、そこに沿った支援計画を作成しています。	今後も継続していきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画をお見せしながら説明し、保護者様から同意を得ています。	今後も継続していきます。

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		フィードバック時も、保護者の方のお悩みにお答えさせていただいています。また、随時個別面談を承っております。	今後も継続していきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	保護者イベントを開催しています。	今後は、さらにイベントの回数を増やしたり、座談会も開催し、保護者様同士やきょうだい同士の交流の機会を設定したりします。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		事業所内では、相談対応者を設置しております。ご相談があった時は、迅速に対応させていただいています。	今後も継続していきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		Instagram等で活動を見ていただけるようにしています。ホームページにて、自己評価の結果等を見ていただけるようにしています。	今後も継続していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報が記載された書類は、鍵付きのキャビネットへ保管しています。個人情報へアクセスできる端末においては、パスワード設定を徹底しています。	今後も継続していきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子様と保護者様の意思疎通が図れるよう、それぞれの思いを大切にしながら対応させていただいています。	今後も継続していきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	行事に地域の子育てサークル・助産院と連携を図っています。	地域で子育てに携わっている方々と今後も連携を深めていきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		避難訓練や感染症予防対策を行っています。	より周知していただけるように、定期的な情報提供を行っています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を策定し、年に2回、避難訓練を行っています。	今後も継続していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		一番最初の面談時の時に確認をしたり、フェイスシートにも記入をお願いしたりしています。	今後も継続していきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物アレルギーのあるお子様の対応の仕方を保護者様と情報共有しています。エビペン講習も行っています。	今後も継続していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		避難訓練や引き渡し訓練を計画に基づいて実施しています。	今後も継続していきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		療育中に災害が起こった場合の対応を保護者の方へお伝えしています。また、引き続き訓練を行い、実際に活かせるようにしています。	今後も継続していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		小さなことでも、ヒヤリとしたことはヒヤリハットに記載し、スタッフ間で共有し、再発防止に努めています。	今後も継続していきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を開き、研修や振り返りを行っています。	今後も継続していきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		○	現状、身体拘束を行う必要性がないため、個別支援計画への記載はしておりません。	今後必要な場合は、保護者の方への十分な説明を行い、了承を得た上で、個別支援計画に記載させていただきます。